議案賛否一覧表

6月定例会（平成23年第3回 6月13日～28日）

○：議案に対して賛成　×：議案に対して反対

議案			会派名（下段は所属議員数）	自由クラブ 9	新政クラブ 5	新しい風 4	清流 3	日本共産党議員団 2	公明党議員団 2	無所属 1	議決結果
〔市長提出〕											
人事	議第1号	教育委員会委員の任命について	教育委員会委員渡辺厚志は、平成23年7月25日任期満了するので、後任委員に渡辺厚志を任命するもの。　委員の任期4年	○	○※	○	○	○	○	○	同意
人事	議第2号	公平委員会委員の選任について	公平委員会委員斉藤敏一は、平成23年6月29日任期満了するので、後任委員に久住和裕を選任するもの。　委員の任期4年	○	○※	○	○	○	○	○	同意
人事	議第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員稲田望は、平成23年6月29日任期満了するので、後任委員に稲田　望を選任するもの。　委員の任期3年	○	○※	○	○	○	○	○	同意
条例	議第4号	三条市恩給条例の廃止について	条例に基づく恩給を受ける権利を有する者がいなくなったことから、廃止するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	議第5号	高機能消防指令システム設備改修工事請負契約の締結について	契約金額　1億4,994万円 契約者　藤島無線工業株式会社 燕三条支店	○	○	○	○	○	○	○	同意
予算	議第6号	平成23年度三条市一般会計補正予算	補正額　2億3,225万6千円追加 補正後の額　577億1,779万6千円	○	○	○	○	×	○	×	原案可決
予算	議第7号	平成23年度三条市介護保険事業特別会計補正予算	補正額　196万4千円減額 補正後の額　80億6,283万6千円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
予算	議第8号	平成23年度三条市一般会計補正予算	補正額　4,383万3千円追加 補正後の額　577億6,162万9千円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
予算	議第9号	平成23年度三条市一般会計補正予算	補正額　600万円追加 補正後の額　577億6,762万9千円	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
専決処分	報第1号	専決処分報告について（平成23年度三条市国民健康保険事業特別会計補正予算）	補正額　7,531万7千円追加 補正後の額　101億8,621万7千円 専決処分した日平成23年5月31日	○	○	○	○	○	○	○	承認

（P7に続く↓）

※鶴巻俊樹議員欠席

（P6からの続き↓）

〔議員発案〕											
意見書	議員発案第1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出について	豊かな教育環境を整備するため学級規模を30人以下とすること及び義務教育費国庫負担制度の堅持とく国負担割合を2分の1に復元すること	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
〔請願〕											
請願	請願第7号	高齢者の生活実態に見合う年金引上げを求める請願	無年金と低年金者に生活支援金を給付すること及び高齢者の生活実態に見合う年金の引上げを行うことなど	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
請願	請願第8号	後期高齢者医療制度の廃止を求める請願	後期高齢者医療年金制度は速やかに廃止し、元の老人保健制度に戻すこと及び保険料の負担増が生じないよう、必要な財政措置を講ずることなど	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
請願	請願第9号	最低保障年金制度の制定を求める請願	財源を消費税によらず、現在の無年金と低年金者に適用する最低保障年金制度を直ちに制定すること	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
請願	請願第17号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願	豊かな教育環境を整備するため学級規模を30人以下とすること及び義務教育費国庫負担制度の堅持とく国負担割合を2分の1に復元すること	○	○	○	○	○	○	○	採択

会派所属議員

○：会派の代表者

自由クラブ	○久住 久俊　下村 喜作　佐藤 和雄 阿部 銀次郎　熊倉　均　武石 栄二 梶　勉　土田 俊人　森山　昭
新政クラブ	○髙坂 登志郎　吉田 進一郎　佐藤 宗司 島田 伸子　鶴巻 俊樹
新しい風	○杉井　旬　岡田 竜一　藤田 博史 名古屋 豊
清流	○西川 重則　横山 一雄　山田 富義
日本共産党議員団	○小林　誠　武藤 元美
公明党議員団	○野崎 正志　笹川 信子
無所属	西川 哲司

討論

日本共産党議員団

議第6号　平成23年度三条市一般会計補正予算、10款教育費のスクールバス購入費について、次の理由で反対する。

子どもたちの安全・安心な通学を確保するためのスクールバス運行について反対するものではないが、教育委員会は今回のバス購入で20台のバスを保有することになり、市内大手の観光会社に匹敵する規模になる。

委員会審査では、使用目的を「一体校にも使う」「小中連携で登下校に使わない」など、答弁が二転三転。一体校問題では、3月定例会で地元の合意を得るようにとの請願が全会一致で採択されているが、まだこれにも応えていない。先を見越しての購入の必要はない。

議会一口メモ

表決（採決）と議決とは

表決は、議会の意思決定に個々の議員が参加するための手段で、議案などに対して賛成、反対の意思表示をすることをいいます。

議決は、表決の結果得られた議会の意思決定のことをいいます。

継続審査とは

委員会に付託された事件について、定例会や臨時会の会期中に審査結果を得ることができなかったため、議会の議決を得て、閉会中も引き続き審査を行うことをいいます。

専決処分とは

議会が議決をすべき事件について、法律などで定められたものに限り、議会を開かずに市長が議会に代わって決定することをいいます。